

一粒の麦 場面四

吟子の旅立ち



「行ってきます・・・」

1873(明治6)年、吟子はさらに学問を修めるために上京しました。

写真と解説はイメージです。史実と異なる場合もあります。

退院し故郷に戻った吟子は本格的に学問を始めます。まず、幕末の著名な儒学者 寺門静軒が妻沼村(現熊谷市妻沼)に開塾した両宜塾に入門します。吟子は、静軒の後を継いだ松本万年の教えを受けたようです。松本万年は静軒の漢学を学び医業も修めた人物です。そして、1873(明治6)年にさらに学問を修めるため 22 歳で上京しました。